

# 【 人にやさしい現場 】

北海道支店真栄会 建築躯体部会

## コンクリート配管埋設工法

創業40年 鳶・土工・コンクリートポンプ車圧送工事は  
ぜひ当社へおまかせ下さい

株式会社 輝建

# 『施工現場』

## 《工事概要》

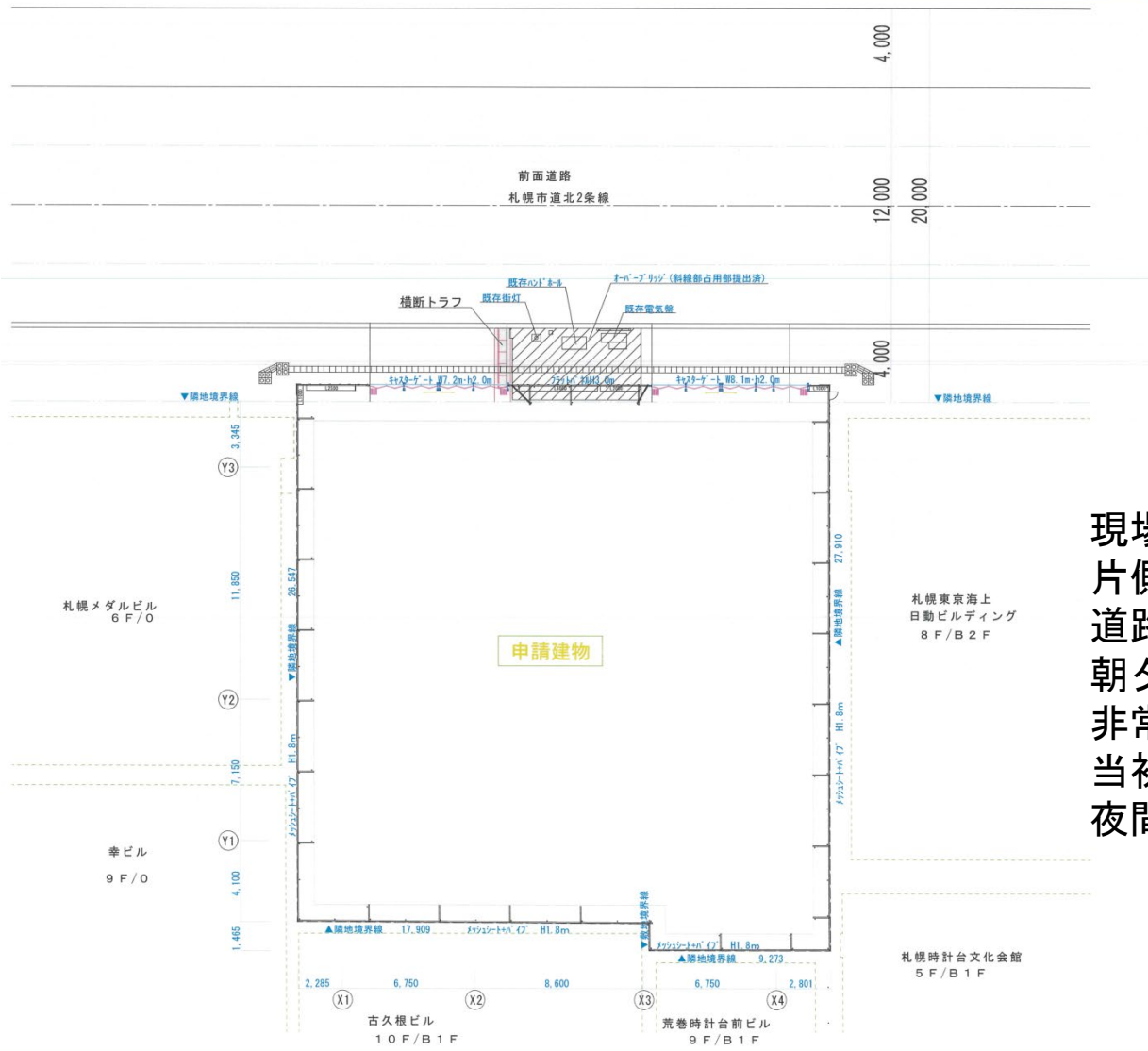
宿泊施設 ・ SRC造

地下1階 ・ 地上12階

# 動機・ねらい

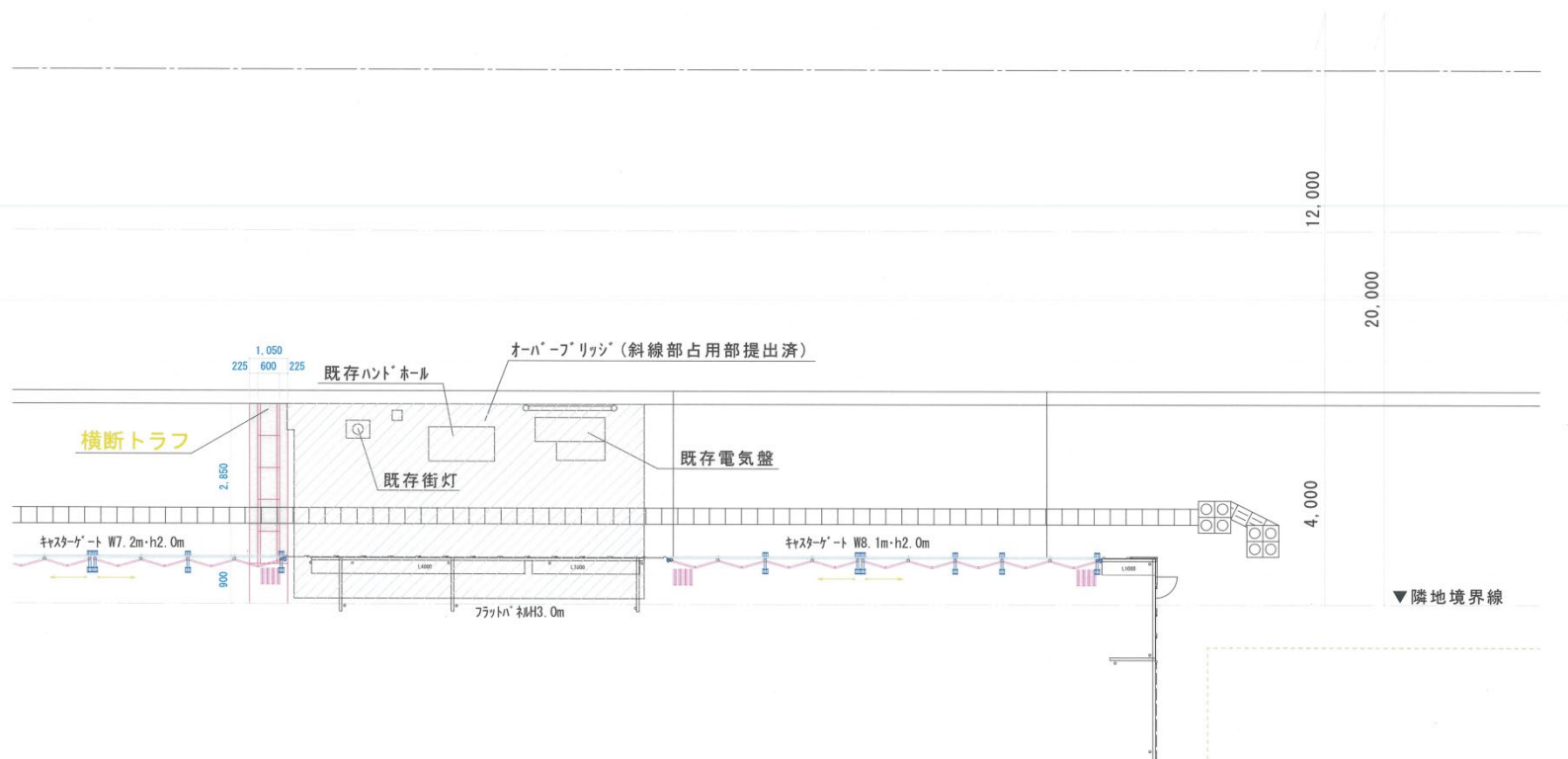
- 市内中心部に位置する施工場所でのコンクリート打設 工事で安全に作業を行い第三者との接触事故防止を目的とする。
- 通常であれば、夜間作業での計画を行うのが一般的だが、夜間の交通量は日中に比べ多くはないが人通りは多く、夜間作業では第三者に対し安全への配慮が低減する可能性がある為、日中作業が出来ないか検討を行う。
- 労務者不足、労務費の高騰に対する原価の低減に寄与る。

# 『全体平面図』



現場は市の中心部に位置し片側2車線の非常に交通量の多い道路に面していて、さらに歩道は朝夕の通勤者、日中の観光客が非常に多く通る場所であるため当初の計画ではコンクリート打設は夜間作業となる予定でした。

# 『横断トラフ平面図』

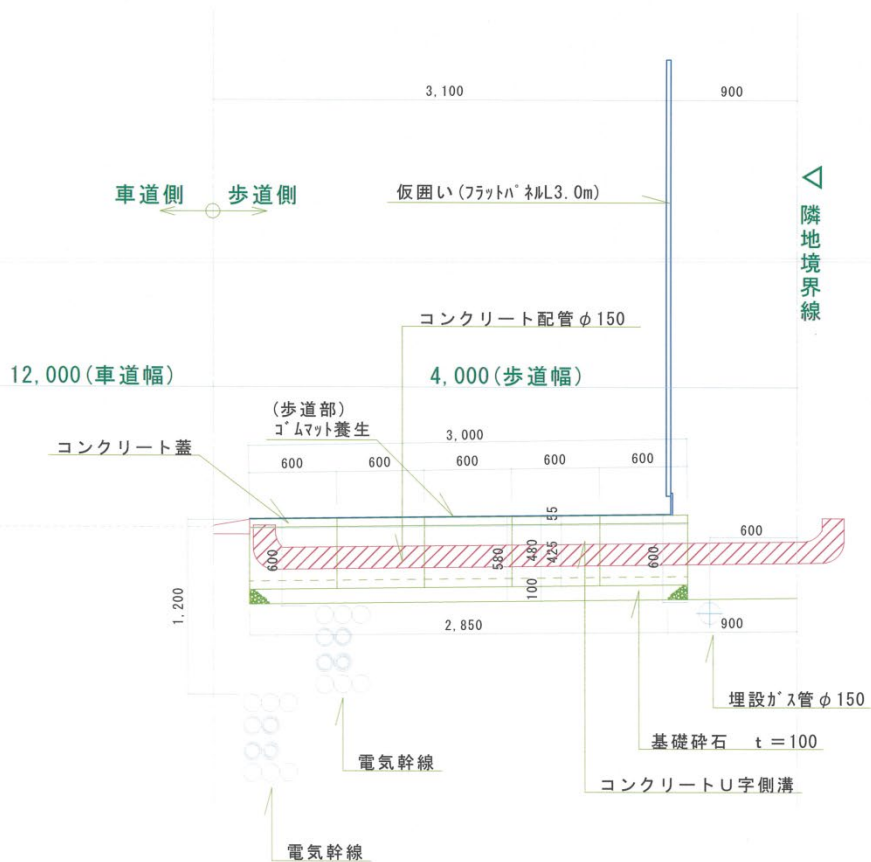


横断トラフ占有面積

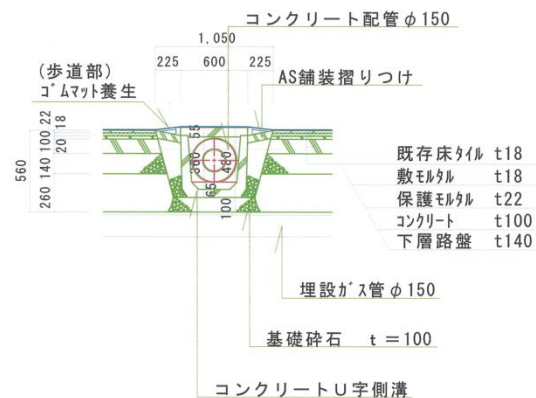
$$1.05 \times 2.85 = 2.99\text{m}^2$$

しかし夜間作業は非常にコストがかかる上、作業員不足もあり  
日中の作業が望まれるところでしたが、  
通常の、歩道上に配管をして木材や鉄板等でスロープを作る  
やりかたでは、猛スピードで走る自転車、体の不自由な方、  
老人や車椅子の方に非常に不便を強いる事になります。

# 『横断トラフ部詳細図』



そこで、コンクリート配管を歩道に埋設する事を考え、幾多の打合せの後  
 現場所長の、新しい事は積極的に取り入れる  
 という方針もあり現実の物となりました。



# 改善効果

- 床段差が無く、歩行者を安全に通行させる事が出来た。
- 日中の施工が可能になり、夜間工事に比べコンクリート打設工事費用の低減に繋がった。  
(コンクリート材料、打設労務の夜間割増し)
- 他業種においても利用出来た。  
(ウレタンホース埋設に利用)
- 夜間に比べ、騒音に対する苦情のリスクを低減出来た。

## 施工時の難点、苦勞した点

■ 役所との協議が難航した。

(土木センター(道路管理者)、警察署)

■ 断面決定まで時間がかかった。

(埋設部の点検用の細工方法、段差解消方法)

■ ポンプ車の配管接続部については、別途養生が必要となる。



# 『実際の施工写真』









# 〔コンクリート打設状況〕

